

令和7年度 笠松町立下羽栗小学校「グランドデザイン」

ひとりだちのできる子

<下小職員としての信条>

- ・「誰一人悲しい思いをさせない」という深い愛情をもって子どものしあわせを考える。
- ・子どもの居場所を確実につくり、「今日が楽しい」「明日も楽しみ」の言葉が生まれるようにする。
- ・職員自身が「この学校でよかった」「自分の力が生かせる、生かしたい」と思えるよう自分の力を発揮する。

<地域・保護者の思い>

- ・PTA、地域の諸団体は学校の応援団。
- ・学校が安心して通える楽しい場であってほしいという願いが強い。
- ・思いやりがあり明るく元気に生活してほしい。
- ・学校を媒介として地域の絆を深めたい。

知

<よく考える>

- ・学び方を身に付け、主体的に学ぶ子
- ・自分の考えをもち、仲間と学び合う中で、最後は自分で選択・決定できる子
- ・願いや考えを分かりやすく表現し、伝え合う子
- ・課題をもち、進んで追究する子

徳

<助け合う>

- ・仲間の痛みや喜びが分かり、思いやりのある行動ができる子
- ・互いのよさが分かり、仲間と協力して助け合う子
- ・きまりや約束がなぜあるかを考え、楽しく生活する子

体

<やりぬく>

- ・めあてをもち、体力づくりに励む子
- ・健康な生活習慣づくりのできる子
- ・安全で美しい環境づくりに励む子
- ・自分の命は自分で守る子

地域・社会のウェルビーイング
地域の自慢の学校

地域連携:

- ・学校運営協議会
- ・PTA活動
- ・情報発信
- ・幼保小連携
- ・スタートカリキュラム
- ・小中連携
- ・道徳のまち

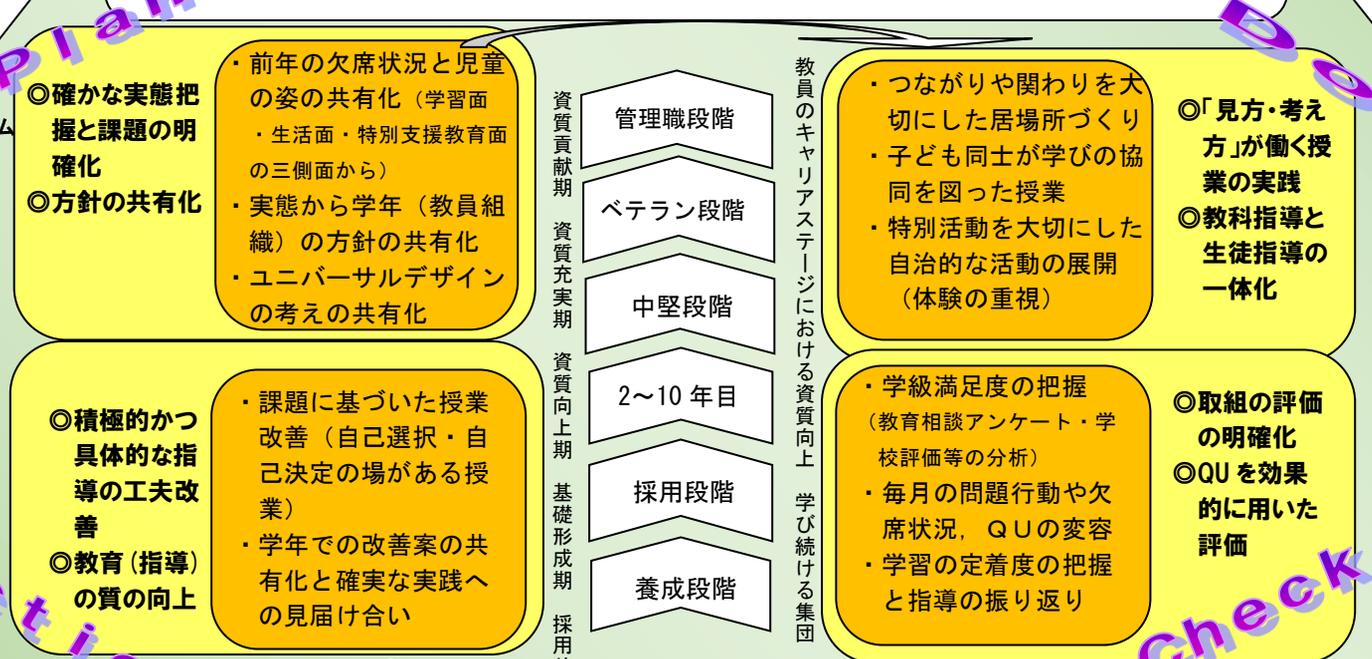
教育研究:

UD・ICT

- ・練り合い、より深く考え、表現するジャンプ課題のある授業
- ・道徳教育

<学校経営目標> しあわせをつくる学校

自立力・共生力・創造力を育み、児童、職員、保護者、地域もしあわせになる学校づくり



安心・安全な環境:

- ・自分の命・健康を大切にできる児童
- ・安全点検と訓練の日常化
- ・家庭・地域との連携

勤務態様:

- ・服務規律の徹底
- ・効率化と意識化
- ・教科担任制拡大
- ・リフレッシュ年休取得促進
- ・心理的安全性

保護者のウェルビーイング
安心・信頼できる学校

生徒指導の充実

教育相談の充実

子どもの姿で評価

- 1 学校が楽しいか 90%
- 2 自ら進んで行う毎日の家庭学習が身に付いたか 90%
- 3 笑顔で気持ちのよい挨拶ができたか 90%
- 4 自ら進んで考え行動できたか 85%

・いじめの未然防止
・発達支持的生徒指導
・その子のよりよくなりたいという思いに着目し寄り添う

・不登校の未然防止、早期支援
・関係機関との連携
・誰一人取り残さない学びの場と機会づくり、支援

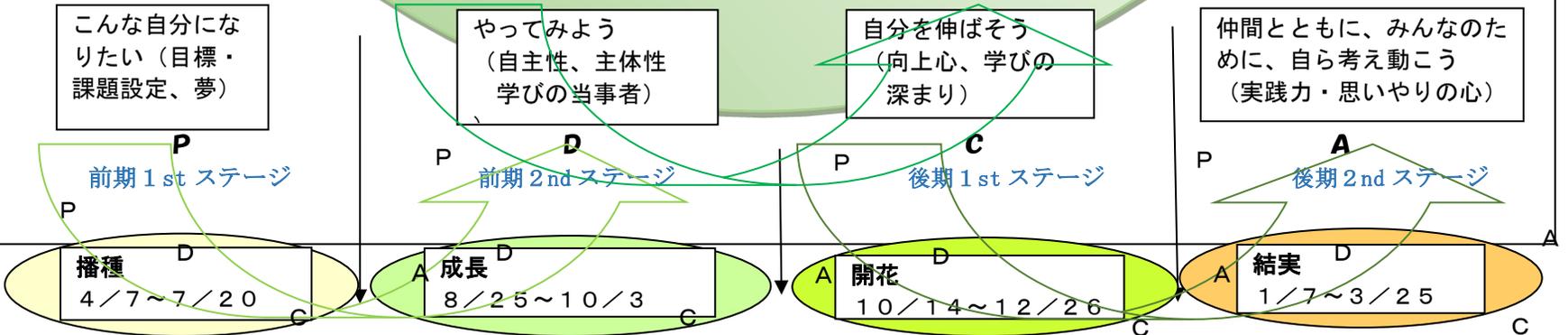
特別支援教育の充実

- ・ユニバーサルデザインを大切に授業と環境づくり
- ・通級指導教室との連携と共有
- ・一人一人のニーズに応じた支援の追究
- ・将来の夢を実現できる進路指導

教師の姿で評価

- 1 温かく聴く指導・優しく語りかける指導ができる教師であったか。90%以上
- 2 子どもの意欲を高めるように、工夫を凝らして指導できたか。90%以上
- 3 授業改革に積極的に取り組み、学ぶ力の向上に励むことができたか。90%以上

子どものウェルビーイング 自己肯定感・自己有用感



各ステージ終了時に、評価(C)改善(A)し、次ステージの願い(P)、具体的な手だて(D)を学年で立て、重点目標の達成を目指す。
「自立力」「共生力」「創造力」の観点から、子どもの姿をとらえ、さらなるウェルビーイングの向上をめざす。